



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2018年3月29日

報道関係各位



～官民協働によるまちづくりを目指して～



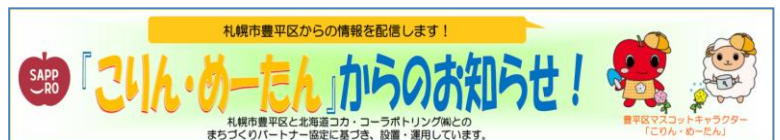
「豊平区まちづくりパートナー協定」を締結

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、2009年1月に札幌市と締結した「さっぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、札幌市豊平区と「豊平区まちづくりパートナー協定」を2018年4月2日に締結いたしますので、お知らせいたします。

当社は、2016年4月に「豊平区まちづくりパートナー制度」に登録し、ボランティア除雪や、リンゴ並木への植樹など、豊平区におけるまちづくりへの参加を行ってきました。

今後さらに、札幌市豊平区と相互の連携を強化しながら、それぞれが有する機能や資源を効果的に発揮することにより、官民協働によるまちづくりを目指していくために、新たに「豊平区まちづくりパートナー協定」を締結するものです。

この協定に基づく新たな取り組みとして、区役所1Fに「電光掲示板付き災害対応型自動販売機」（愛称：こりん・めーたんからのお知らせ）を設置、通常時には豊平区の地域情報や防犯・防災に関する情報発信、災害発生等の緊急時には自動販売機内在庫の無償提供などをおこないます。



＜「こりん」と「めーたん」は豊平区のマスコットキャラクターです＞

「豊平区まちづくりパートナー協定」に基づく連携事業の骨子

1. 安心して暮らせるまちづくり
2. 魅力と活力にあふれたまちづくり
3. その他両者の協議により決定した事項

「豊平区まちづくりパートナー協定締結式」及び「電光掲示板付き災害対応型自動販売機点灯式」

日 時：2018年4月2日（月）15：00 「豊平区まちづくりパートナー協定締結式」
15：15 「電光掲示板付き災害対応型自動販売機点灯式」

場 所：札幌市豊平区平岸6条10丁目1番1号
豊平区役所 4階会議室（点灯式は1階ロビー）

出席者：豊平区長 西田 健一 様
当社 代表取締役社長 佐々木 康行

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。



北海道コカ・コーラボトリング株式会社は「北海道150年事業」パートナー企業として未来へつなぐ取組みを応援しています

＜本件に関するお問い合わせ先＞

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部
担当：野上 TEL 011-888-2091

<参考> 札幌市との取組みについて

➤ 「さっぽろまちづくりパートナー協定」

札幌市では市民自治の推進を図るために、幅広い政策分野や事業について、ともにまちづくりを担っていくことを合意できた企業と、包括的な連携協定（名称 さっぽろまちづくりパートナー協定）を締結しています。札幌市と当社は以下の4分野を連携の柱とした協定を2009年1月に締結しました。

- (1) 未来を担う子ども達が健やかに育つまちづくり
- (2) 安心・安全で誰もが健康に暮らせる、人と環境にやさしいまちづくり
- (3) 観光・文化・スポーツの振興を通じた、都市の魅力が輝くまちづくり
- (4) 地域の連携・協働を進めるまちづくり

〈同協定に基づいた取組み〉

- ・ 2009年11月より、「さっぽろ雪まつり」を応援するため、「コカ・コーラ」と「コカ・コーラゼロ」の「さっぽろ雪まつり応援デザイン缶」を発売し、売上の一部をお祭りの運営に寄付。
- ・ 2010年5月より、「YOSAKOI ソーラン祭り」を応援するため、「コカ・コーラ」と「コカ・コーラゼロ」の「YOSAKOI ソーラン祭り応援デザイン缶」を発売し、売上の一部をお祭りの運営に寄付。
- ・ 「区民が主体のまちづくり」の推進を支援する為、市内10区と、各区の特色を活かした連携事業を展開。
- ・ 豊平区との「まちづくりパートナー協定」締結により、札幌市内10区全てと「まちづくりパートナー協定」を締結。
- ・ 安心・安全なまちづくりへの取組みとして、災害時の飲料供給、電光掲示板を搭載する災害対応型自動販売機を活用した防災メッセージの配信や飲料の無償提供など行う他、札幌市主催の防災訓練への参加、その他の防災啓発活動への協働での取組みを実施。

➤ 「札幌市円山動物園を舞台とした環境協働事業」に関する協定

札幌市円山動物園を舞台として、札幌市民や札幌を訪れる方々に環境問題を考えるきっかけを提供する事を通じて、潤いある環境文化都市の実現に向けた環境協働事業に関する協定を2008年4月に締結しました。

〈同協定に基づいた取組み〉

- ・ 2010年9月に、札幌市円山動物園において取り組んでいる「野生動物復元プロジェクト」を応援し、「猛禽類野生復帰施設」の建築費用の一助として1,000万円を同プロジェクトに寄付。
- ・ 次世代教育の場として札幌市円山動物園内に「nature café EARTH（ネイチャーカフェアース）」をオープンし、来園者に休憩を楽しんでもらうほか、環境の大切さを感じていただく場として運営。
- ・ 2013年4月に、環境問題や食育への関心を持つきっかけになることを目的に札幌市食育特別大使であるキャラクター「Qoo（クー）」と、同園で飼育展示されている動物（絶滅危惧種）である、「ホッキョクグマ」「マレーバク」「オオワシ」「カバ」の4種が描かれたオリジナル製品を発売。



➤ 「環境事業に関する協定」の取組み

札幌市清田区にある「白旗山における森づくり事業」や「札幌市円山動物園における賑わいづくり事業」等を通して、環境啓発活動を相互に連携して取り組んでいくことを柱とした包括協定を2011年6月に締結しました。

〈同協定に基づいた取組み〉

- ・ 白旗山都市環境林において、札幌市森林組合や市民団体などと連携し長期にわたる森づくりを展開。
- ・ 白旗山での森づくりをすすめる中では、「『森に学ぼう』プロジェクト～わくわく体験ランド北海道 in 白旗山」や「山のがっこう」など、次世代を担う子どもたちを対象とした環境教育プログラムを実施。



➤ 「震災時の消火用水等の供給協力に関する協定」

札幌市において地震等の大災害が発生した場合に、被害を少しでも軽減する為、市民・企業・行政が手を携えて、震災対策の充実強化と、災害時の円滑な消防活動に資することを目的として、2014年3月に協定を締結しました。

当社では、大規模な火災を消火するための消火用水の提供、中長期の消防活動に必要な飲料水の提供等に向けた備えを行っています。